



一隅を照らそう
11月号

370号
毎月28日発行

E-mail: info@tougakuin.jp



想いを巡らせて

住職 中島 有淳

當山の廊下には、仏の教えの『一日一訓』(日めぐりカレンダー)が掛けてあります。

毎回そこを通る度に、チラッと眺めて「ああいい言葉だなア」とか「成る程…」と思いつながら同じ言葉でも反応は種々です。その日は「宝石は地から生まれ徳は善から現れる」とありましたが、毎月この言葉に接していても、余り気持ちが反応しなかったのですが、この日は何か心のどこかでビッビッと感じる。何かがありました。どこがどう反応したかと尋ねられても、上手に説明出来ませんが、心の奥に響いたその感覚はその後すぐに霧散してしまい、いつもの「アッそう…」といった風に戻ってしまったのです。

昔より高僧は、ご自身が修行によって体得された世界を大切にされ、人々にいかに仏の教えを伝えるかにご苦労されてこられました。

言葉の持つ境界を感じながらも言葉にこだわって、仏の世界と対峙されてこられたのです。

空気や、また光のように実体をとらえ難い仏の世界を表現する難しさに、祖師方は激しい熱情をもって、毎日を過ごされた事でしょう。

最澄(七六七〜八三三) 天台宗の宗祖

『一隅を照らす 是れ即ち国の宝なり』

空海(七七四〜八三五) 真言宗の宗祖

『近うして見難きはわが心なり』

法然(一一三三〜一二一三) 浄土宗の宗祖

『月かげのいたらぬさとはなければども
ながむる人のこころにぞすむ』

親鸞(一一七三〜一二六三) 浄土真宗の宗祖

『如来大悲の恩徳は
身を粉にしても報ずべし』

道元(一一〇〇〜一二五三) 曹洞宗の高祖

『春は花 夏ほととぎす 秋は月
冬雪さえてすずしかりけり』

日蓮(一二三三〜一二八二) 日蓮宗の高祖

『根ふかければ枝しげし
源遠ければ流れながし』

こうした聖句が表すのは目にみえない世界だからこそ、大切に想いをめぐらせ味わいたいものです。

折りふしのはな

残月(ざんげつ)

久しぶりの秋晴れの朝

青い空に

白い月が残り

ああ 下弦の月か

こんな日に

飛行機に乗ったら

気持ちいいだろうなあ

なんて 思っていたら

ブーンと飛行機が飛んできた

どこに行くんだろう?

オツと大変

庭そうじ 庭そうじ (遊)



行事案内

○星祭供修行 十二月二十一日(冬至)

来年の運勢が冬至から変わりますので、悪運を転じて吉運となりますようにご祈祷致します。

申込書をご利用下さい。(締切 十二月八日)

○七五三詣り(随時・ご予約下さい)

*お守りとお札をお授け致します。

月例案内

◎毎月八日 午後二時

薬師如来祈祷会 観音経読誦

◎毎月十二日 午後二時

智泉院法要日(於・日本橋茅場町)

◎毎月十八日 午後二時

観音経読誦法要(於・神木観音堂)

◎毎月二十八日 午後二時

不動明王護摩供修行

*毎朝 六時より公開で朝のお勤めをしております
ご都合のよろしい時には「一緒どうぞ」

あとがき

○十一月に入りますと冬至の『星祭』お正月の『開運初護摩』等のご案内を致します。本年も御申し込みをお待ちしております。○衆議院総選挙十月二十七日は投票が行われます。石破新政権が発足してすぐの総選挙で、いろいろ話題が多いようです。保守王国の日本の国民が今回どんな審判を下すか。大型の「日本丸」がどのような進路に舵を執り触先を進めるのでしょうか。

○ノーベル平和賞を『日本原水爆被害者団体協議会』(日本被団協)が受賞。おめでとうございます。永年の活動が評価され、現在紛争が多発している地域にとっても、立ち止まってもっと平和を考えてほしいものです。

○俳優の西田敏行(76)さんが逝去。種々な演技で周りを和ませてくれました。特に『釣りバカ日誌』での宴会芸は毎回秀逸でした。

○ドジャーズ大谷翔平選手が先日記録した50ホームラン、50盗塁の記録を作ったホームランボールに六億円以上の値がついたとが、「たかがボール、されどボール…」で、驚きです。

○日一日と秋も深まっていくことでしょう。お元氣にお過ごし下さい。

赤蜻蛉 筑波に雲もなかりけり

正岡子規

合 掌